

令和5年度府中市立府中第四中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 分からないことをそのままにして、学習を進めないようにする。
- ② 学習したことを振り返ったり、繰り返し練習したりして、基礎学力の定着を図るようにする。
- ③ 学んだことを、他の場面で生かしたり、応用したりしようとする意欲をもてるようにする。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 生徒のもっている資質・能力を伸ばせるよう、個に応じた指導を充実させる。
- ② 生徒が見通しをもって学べるように、授業1時間ごとのねらいをより明確に示す。
- ③ ICT機器を有効に活用した授業を展開できるようにする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ・学ぶことに楽しみを感じる生徒
- ・主体的に学ぼうとする意欲のある生徒
- ・学んだことを様々な場面で生かせる生徒

(2) 目指す授業像

- ・「できた」、「分かった」と感じられる場面が多い授業
- ・言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育てる授業
- ・ICT機器を有効に活用し、学んだことを様々な場面で生かせるような、応用力、問題解決力を養う授業

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「物語文」を扱う単元においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導を充実する。 ・「説明文」を扱う単元はキーワードとなる言葉を探し、筆者の主張を探し指導を重点的に行う。 ・上記2点にからめるよう言語の習得に力を入れる。 	美術	<ul style="list-style-type: none"> ・導入段階で意欲を高め関心を引き出す工夫をする。作業が進まない生徒に対しては、個別指導の充実を図り、寄り添って一緒に考え美術への意欲をもてるよう働きかける。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した「視覚的に分かりやすい授業」を実践する。 ・生徒主体の授業への転換を図り、主体的、対話的で深い学びを実現する。 	技術	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の流れを掲示し、授業の見通しをもつたうえで具体的で簡潔な授業のねらいを明示する。実習では、その時間の作業目標・作品例を示しながら説明する。目標を具体化することで、作業に集中して取り組めるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を関連付けて、推論する授業や、単元を意識した授業づくりを行う。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに1時間の授業の流れを説明し、見通しをもたせる。また、体験的な活動を増やし、家庭科への意欲をもたせるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を明確にし、実験の予想や目標を明確にする。またその実験を通して、論理的な文章で説明する力の向上を図る。 	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で、自他の課題を発見し、対話的な活動や課題別練習を通して資質・能力の三つの柱の向上を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・数々の名表現に感銘を受ける感性を育てる工夫をする。また、読譜のための基礎知識を学ぶ時間を取り入れる工夫をする。 	外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのGoalから授業内容をデザインする。また、Chatなどの帯活動を充実させ、即興で自分の考えなどを「話すこと」ができる力の向上を図る。

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・Jamboardなどを利用し、全体で意見を共有したり、話し合ったりする場に活用する。
- ・eライブラリを活用し、生徒の基礎学力の定着を図る。